

私の写真館

私の日々の活動の中から皆様に伝えたいことを写真に現します。

みなさんは島野浦島と言えば何を思い浮かべますか？「あげみ」や「干魚」、「日本一のオオスリバチサンゴ」などが有名ですね。さらに2009年には「島の宝100景」に選出されたりもしています。そこで、今回はそんな島野浦島の魅力を皆様に伝えるべくこの島に渡り、島にまつわる歴史や文化を、地元の人々との交流を通じ、たっぷりと体感してまいりました。



島野浦は人口1200人の水産業、水産加工業の盛んな島です。人々がここで生活を始めたのは、450年前の高橋元種の時代（1596年）からだそうです。その頃、天然の入り江を持つこの島は、海賊衆（水軍）の根拠地となり、徳川幕府の時代には、参勤交代の寄港地として紀州からの漁師が多く移住してきたそうです。

1832年から続いた大飢饉により全国で農村一揆が起こり、この延岡でも9件の一揆が起こりました。その時移住民たちは、ふるさとである四国の方向へ祈るように「四国三十三観音」を設置したのです。完成は1841年でした。その姿は今も健在で「観音巡り」という形で、多くの人々に親しまれています。

また1846年、江戸時代の終わり頃、カツオ船に乗った漁師たちが海に漂う木箱を見つけ、開けてみるとそこには白骨化した顔と金髪の髪、宝石の数々を発見しました。タタリを恐れこの小島に埋めたことより、今現在も「メキシコ女王黄金伝説」として語り継がれています。

その他にも、1850年頃には大塩平八郎の娘である小山せき（関月尼）が尼僧として数年を過ごし、島野浦に彼女の振り付けをした「うちわ踊り」を広めたり、1865年には内藤充真院が来島し、地引き網を見物し図を描くなど様々な歴史的エピソードが語り継がれています。



観音巡り「7番」



7番からの眺め



波越展望所・ナカヤマ崖



最東端からの眺めはまさに絶景

伝えよう! 郷土料理

島野浦名物「鯛茶漬け」



<<材料・作り方>>  
鯛の刺身を酒（調理酒以外）と砂糖をまぜたものに数時間漬け込みます。  
醤油・・・適量  
生卵・・・適量  
ゴマ・・・適量  
ネギ・・・適量  
あつたかいご飯にかける

※名は「茶漬け」ですが、お茶はかけません。



お昼に頂いた「かたくちいわし」



伝説が残るのもうなずける景色も…

うちだりさ後援会事務所のご案内

〒882-0856  
延岡市出北町1丁目23-11  
電話 & FAX 0982-31-5072  
H.P <http://uchidalisa.com>



携帯電話からは左のQRコードを読み込んでアクセスできます。

「うちだりさブログ」見てね!



お知らせ

8月29日に星雲高校で、「先輩からの熱きメッセージ」が行われました。私たち13回生が11名で、1年生から2年生までのクラスに1人ずつ入ってメッセージを送りました。



人と人とのつながりを大切にしましょう!